

## 富雄中学校の歴史

富雄中学校は 1947（昭和 22）年 4 月に、生駒郡富雄村立富雄中学校として創立されました。

富雄村は 1953（昭和 28）年に富雄町となり、富雄町は 1955（昭和 30）年に奈良市と合併し、その時現在の「奈良市立富雄中学校」と改称しています。

2007（平成 19）年に学校創立 60 周年になりました。

かつては校区がとても広がったのですが、登美ヶ丘中学校、二名中学校、富雄南中学校が次々と富雄中学校から分離して創立され、現在の校区になっています。

## 富雄中学校の校訓

学校に入ってすぐの正面玄関のとなり、富雄中学校の校訓をしるした石碑が立っています。石碑には次の三つの言葉が書かれています。「友愛」「自主」「活力」。それぞれの言葉には、次のような実行目標がこめられています。

友 愛	とは	「友情を深め、みんなとともに伸びよう。」
自 主	とは	「意欲をもって、自ら進んで実行しよう。」
活 力	とは	「心身をきたえ、活力のある生活を送ろう。」

## 富雄中学校の校章

創立当初の校章は、Tomio の T を図案化したものでしたが、もっと躍動的にということで今の T の形となり、それを富雄川沿いに咲く桜の花の上に配置したデザインになりました。

